

このまちで暮らす「私たち」が主役の Magazine

広報せいよ

10

OCTOBER2017
No.162

【特集】
夢が、
ある。

私たちの声が主役のコーナー

Say!YO!CLUB

「国体相撲」団体予選対戦表

CATVで番組

「いいやん西予」開始

10/22

掘り出し物がいっぱい！
「せいよこどもグッズまつり」

かつてここは

「何もない」限界集落でした。

「若いもんは出て行って、

子どもはおらんし、人は減るばかり」

「増えるのはイノシシだけ」

「年寄りばかりやと、葬式すらまならん」

「今から皆で、生前葬でもしとくかな」

西予市の中心部から約30km。

山道を上がった先にある

遊子川地区で暮らす人たちは

一時、諦めの言葉を口にしていました。

しかし8年前、この小さな山里で暮らす

1人の男性が声を上げたことから、

変化が起き始めます。

「このままじゃ地区が消滅してしまう」

「ここで何かできるはず」

「やけん今、皆で何かせにやいけん」

思い描いたのは、自分たちが幸せに暮らし

多くの人が訪れるような地になること。

きつとこの先も、人は減る。

けれど私たちには――

【特集】

夢が、ある。



幸せに暮らすため

「何かせにや」

声を上げた男性の思い

信号も、商店も、観光名所も何も無い。
気付けば人口は、最盛期の2割に。
「このまま寂れていくのは嫌」
「何かせにやいけん」
西勝海さんが、講演で訴えたこととは―。

地区には諦めにも似た言葉が飛び交うようになりました。

「若いもんは出て、子どもはおらんし、人は減るばかり」

「増えるのはイノシシだけ」

「このまま年寄りばかりになって、どがいなるんじやろう」

「年寄りがおらんかったら、田も畑も荒れ放題じゃろうか」



遊子川地区は標高が高く、山あい集落が点在するのが特徴。

過疎の地区に、起きた変化

「奥伊予」ともいわれる西予市城川町の、山の奥。くねくねと続く山道を上がった先に、遊子川地区はあります。

60年前には旅館や商店、床屋などがあった、生活をしていく上で必要なことは地区内では済ませること

増えるため息。ここには若者の働く場がない。年離れた親と勤めを終えた退職者が、細々と田畑と集落を守っている。自分自身、生きることが精一杯となって、地域のことまで手が回らない。

そんな中「このまま寂れていくのは嫌じゃんけん、皆で何かせにや」と声を上げた人物がいました。西勝海さんです。



ため息ばかりでは寂れていく一方

退職まで団体職員として活躍し、人一倍地域愛が強かった勝海さん。「自分に何ができるのか?」と自問自答する中で、「一人で考えるのではなく、現状を共有し、皆で一緒に考えたい」という思いに至ります。

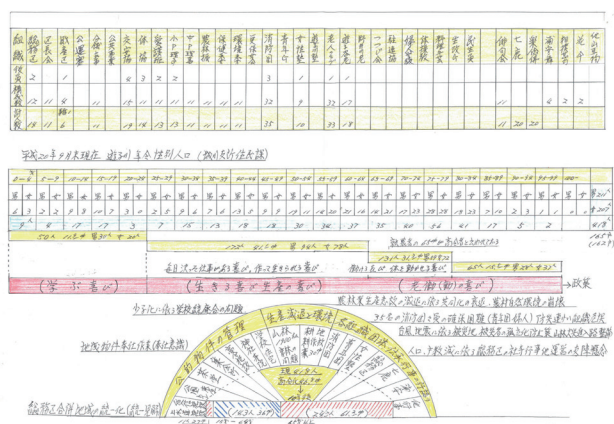
当時の資料には「地区の大先輩から、限界集落に対抗するための良策はないかと相談を受けていました。が、私にはどうすることもできない」と思い、過ごしてきました。しかし、人が減り続ける今、『遊子川はこれから一体どうなるのか』、『何をし、何を残すべきか』の予測も必要と思いい、データをまとめました。検討や対策の礎になればうれしいです」と

いう言葉が記されています。

そして平成21年1月、地区公民館主催の遊子川地区社会教育セミナーで、勝海さんは「ゆすかわを考える」と題して講演を行いました。

「人口推移を見ると、平成50年の遊子川は人口227人。65歳以上は7割と予測」

「女性の独り暮らしが増え、集落行事などへの影響が懸念される」
今後とも人は減り続け、田畑は荒れ、



遊子川の将来をデータで分析。作成資料は30Pに及ぶ。

地区の行事や助け合いがままならなくなる。でも、ため息ばかりついていては寂れていく一方。今、皆で一緒に考えようと訴えました。

じつととっても変わらん
「何もせん」という選択肢はない

勝海さんが思い描いたのは、この地で生きたいと願う自分たちが、まずは幸せに暮らすこと。そして、多くの人が訪れるような地になることです。ふるさとを守りたい、元氣にしたいという夢が、声を上げる原動力でした。

「夫は生前、このまま人が減ったら遊子川は消滅してしまう、皆で何かせにやいけん」と、事あるごとに話していました。人が減るのは止められん、けど何もせんという選択肢はないと。この良いところを生かして、全員が当事者として盛り上げていかないといいよったことが、忘れられません」

妻久榮さんに見守られながら、勝海さんは平成25年に他界。抱いていた思いや夢は、遺された人たちに託されることとなりました。



講演する西勝海さん

メンバーは住民全員 立ち上がった 「遊子川もりあげ隊」

自分たちが今、行動を起こさなければ
安心して暮らせる未来はない。
だから、立ち上がる。
「ここであって、何かできるはず」
可能性を信じる心が、全員を動かしました。

「西さん、そんなの無理よ」
自分の仕事で精一杯…

「このままでは遊子川が消滅して
しまう。やけん、皆で何かせにゃ」
西勝海さんが上げた声は、大きな
変化の始まりとなりました。
「でも正直、当時は『西さん、むちゃ
くちやなこと言いよるな』と思いま
した。若い人が少ない上に、地区外
で働いて夜に帰ってくる人も多い。
みんな自分の仕事で精一杯で、余裕

なんてないのに、『地域のために行
動しよう』だなんて無理。絶対によ
うせんと思いました」

「むちゃくちやなことを言いよる
ようで、的を得とるのが西さんのす
ごさ。時間が経つにつれ『全員でや
らにゃいけん』『今立ち上がらんと』
という意識を、みんなが持つようにな
りました」

「人間よりイノシシの方が多けれ
ば遊子川も捨てたもんじゃない、こ
こであって何かができると、西さん

はいつも言いよりましたね」

当時のことを懐かしそうに振り返
るのは、勇真喜男さんと三瀬逸雄さ
ん、浦田達徳さん、富永武仁さんの
4人です。あの日の講演内容は、時

と共に全員の共通意識となり、地域
の結束へとつながりました。勇さん
たちは「遊子川もりあげ隊ができた
のは、西さんの講演がきっかけ」だ
と、声をそろえます。

「遊子川もりあげ隊」とは「遊子
川地域活性化プロジェクトチーム」
の通称名で、講演の2年後に勇さん
たちが中心となって立ち上げた地域
づくり組織です。メンバーは、住民
全員。幸せに暮らせる地域をつくっ
ていくための活動が、このときから
始まりました。

皆で動いて「夢」を「現実」に

もりあげ隊のメンバーは頻繁に集
まり、現状を良くするアイデアを出
し合っています。



「荒地が増えると遊子川の印象が寂しくなるけん、桜でも植えて、華やかにしようや！」何年も放置された荒地を、メンバー20人で1年かけて整地。地区からは「良くなった」「どんどんやって」との声。



ヤマアジサイなど貴重な高山植物が生息する「雨包山」で山菜を摘み、山頂で天ぷらやピザなどに調理して食べる「春満喫ツアー」を、毎年4月に企画。参加者満員の人気のツアーになっています。



「年を取ると草刈りや墓掃除が大変。隣近所に頼めるけど、何度も繰り返し返すと、どちらともがしんどい。やけん、気軽に頼める仕組みはないかな？」という意見から生まれたのが「なんでも屋ゆすかわ」です。名前のとおり、何でもすることがモットーの組織で、草刈りは大体1時間1200円。時給換算することで、仕事を依頼する方も受ける方も心地よくいられるのではな

いか。そうしたら独り暮らしのお年寄りも気兼ねなく、最後までここで暮らしやすいのではないかという思いが込められています。

「耕作放棄地が増えたと地域が寂しくなる」という意見が出たときは、メンバーで荒地を整え、桜を植樹しました。他にも「木材を活用して経済循環を生みたい」「高山植物が生息する山を観光名所にしたい」という夢を、皆で行動しながら「現実」に変えています。



間伐材を加工して、木工作品に。遊子川の木材で作るから、ブランド名は「ユスモク」。依頼があれば、メンバーがその都度制作。野村中学校前のベンチもユスモクです。



西勝海さんの講演を機に「もりあげ隊」を立ち上げ、礎を築いた勇真喜男さん（初代会長）ら4人。



「がんばってる人らがおるし、ちょっと遊子川行ってみようかなって思わせたいんです」と辻本京子さん

遊子川産野菜たっぷりの「リコピンズランチ」700円。
メニューは毎回変わる上に、ご飯のおかわり自由。



食堂は毎週水曜日と第4日曜日の午前11時～午後2時限定。食堂がない日は、誰でも自由に集える場として開放しています。



客席は、もりあげ隊で手作りした遊子川木工「ユスモク」。
開店日の第4日曜日になると、あっという間に満席に。



女性たちも元気！ 地区で唯一の 食堂をオープン

元気の良いお母さんたち、その名も「リコピンズ」が切り盛りしている「食堂ゆすかわ」。毎週水曜日と、第4日曜日にだけオープンするこの食堂が、大人気。オリジナル商品の評判も上々です。



遊子川は、標高1000mから1100mの山あいの地区。特産品と呼べるものもなく、ただ米と、ユズと、トマトが採れるだけの地域でした。平成26年までは―。

何もない地区に、食堂を

「いらつしゃいませー！」
遊子川地区に、女性たちの声が明るく響く場所があります。平成26年

4月、旧JA跡地にオープンした「食堂ゆすかわ」です。
切り盛りしているのは、もりあげ隊から生まれた女性グループ「遊子川ザ・リコピンズ」。トマトを使つて地域を元気にしようと活動する女性たちです。平均年齢は67歳。地区では十分若手です。

「こんなことがしたいという夢を、皆で形にできて本当にうれしい。規格外トマトで特産品を開発したい、

行錯誤を繰り返しながら、トマト果汁から自家製トマト酢を作り、ユズ果汁をブレンドして「トマトユズボン」を開発しました。これが、まろやかな味わいでおいしいと、口コミで大ヒット。関東の有名ホテルでも使われるようになりました。

開発した自慢の特産品と野菜を使って、おいしい料理をふるまう食堂ができたらしいな。加工所を作つて、もつともつと特産品開発を進めたいな。リコピンズが抱いた夢は、地域全体の夢となり、実現していき



「リコピンズのボン酢がおいしかったから、直接行ってみたくって」と、食堂に訪れた松山市のご夫婦。
「初めて遊子川にきましたが、本当に何もなくてびっくり。ここに食堂を作り上げる女性のパワーがすごいですね」

食堂には現在、年間3000人が訪れています。そのほとんどが地区外から。中にはリピーターもいて、「何もない」遊子川に、人の循環と交流が生まれています。

「もつと営業日を増やしてほしいという声も多いのですが、メンバーには農家も多いので、農作業に無理のない範囲で営業しています」と辻本さんは何だか誇らしげ。

リコピンズは平成28年、企業組合としてもりあげ隊から独立しました。更なる事業拡大を目指し、特産品開発や販路拡大を進めています。

惹きつけたいから輝かせる

リコピンズの目標は、楽しく、いきいきと活動することです。

「人って、いきいきとしている場所に魅力を感じるでしょう。やから、私たちは笑顔で動いて、遊子川を輝かせたいんです」

あんなところに行っても仕方ない、ではなく、がんばってる人がいるからちよつと行ってみようと思わせたい。だから、全員で盛り上げるのだと、辻本さんは語ります。



「赤いユニホームと緑のパンダナで、見た目からトマトよ」

「こんな田舎つまらん」 言いたくなかった 遊子川の悪口



森岡未来さん

住民として、映画に出演できるって聞いたときはうれしかったです。でも、東京から来た医者 黒瀬に対して「こんな田舎、おってもつまらんことない?」「うちも東京に行くんよ」と言うセリフが、どうしても言えなくて。「この役は別の人をお願いしてください」と、森監督に電話をしたほどです。

私は生まれてからずっと、遊子川で育ちました。高校卒業と同時に友人たちは市外に出たので、都会に憧れた時期もあります。地域の人思いやりをうっとうしく感じて、自分の居場所がない…と思ったこともあります。

でも、もりあげ隊の活動に参加する中で、仲間ができて、遊子川の人たちの優しさ、温かさを感じられるようになりました。ここで暮らす人が好き。遊子川が大好きです。

だからこそ余計に「つまらん」「早くここを出たい」だなんて、侮辱するようなセリフが言えなかった。森監督には「遊子川を愛する未来ちゃんにこそ演じてほしい役だ」と説得され、最後にはしぼり出すようにセリフを言いました…。ぎこちないシーンとなりましたが、ぜひ注目して見てもらえたらうれしいです。

「映画になると、私たちのふるさとがすごくきれいに見える」と、地区内からの評判も上々。今では閉校となった遊子川小学校の様子が収められているのも好評です。撮影から3年、出演者のうち6人が他界し、遺族からは「生前の様子が映像として残っていて、うれしい」という声も聞かれています。



ロケ地には案内看板も

作品は松山市の映画館はもちろん、東

「信号や商店はもちろん、観光資源もなくて、初めて遊子川に来たときはびっくりしました。これは、映画の作りがいがあるなど」

監督の森幸一郎さんは、何もない

遊子川に驚いたのと同時に、もりあげ隊の地域を思う心に胸を打たれました。いつしか自身も「この地域に何かを残したい」と思うように。住民とは家族のようにすっかり仲良くなり、現在でも映画を越えた付き合いがあるといいます。

「何もない地区ですが、おいしいトマトが採れる。当時、もうすぐ食堂ができると聞いたので、それならばトマトと『食堂ゆすかわ』を映画の題材にしようと決めました」

遊子川は自然もきれいで、どこにカメラを向けても絵になりました。ありのままで、美しい。

「映画には、外の人間から見た魅力と、地域を愛する住民の美しさが詰まっています。もりあげ隊ががんばって上映会をしているので、皆さんの目に触れる機会があると思います。そのときはぜひ、遊子川の優しい風を感じてくださいね」

きっとその魅力に引き込まれるはずと、森監督はほほ笑みます。

わせると、100人以上が関わった大作です。

「映画になると、私たちのふるさとがすごくきれいに見える」と、地区内からの評判も上々。今では閉校となった遊子川小学校の様子が収められているのも好評です。撮影から3年、出演者のうち6人が他界し、遺族からは「生前の様子が映像として残っていて、うれしい」という声も聞かれています。

東京都や島根県でも上映 ロケ地巡りも

何もない地だけれど、西予市の山奥にある遊子川という地名と、自然の美しさを知ってほしい。

「撮影スタッフ全員、遊子川が大好きになりました」
森幸一郎さん（ヒメブタの会代表・監督）

撮影は1月～3月。山深い遊子川では雪が積もる季節です。撮影に関わった住民からは、「とにかく寒かった」「雨のシーンは消防ポンプで川から水を汲み上げて撮影したんやけど、逆風やけん全身が水浸しになった」などという裏話も。



トマトと、少女の恋： 自主製作映画 舞台は「ゆすかわ」

出演者も、スタッフも、撮影場所も。100人以上の住民が関わってありのままの遊子川を映画にしました。その名も「食堂ゆすかわ」です。



【あらすじ】
食堂ゆすかわで働く春子（戸田明里）は、自分の作るトマト料理で地区の人々を笑顔にすることを生きがいにしていた。そんなある日、診療所に医師の黒瀬（山本清文）が赴任してきて…。



「また来ます」 遊子川ファン ぞくぞくと誕生中

人口減少は止められない。
なら、まずはファンを作りたい。
それが移住へとつながれば―。
未来への希望を胸に、
もりあげ隊は活動しています。

「トマトの原産地アンデスに近い
環境で、減農薬で育った採れたてト
マトを丸かじりしませんか。遊子川
トマトオーナー大募集！」
もりあげ隊は、定植や収穫をイ
ベント化。平成26年度から「トマ
トオーナー制」を企画しています。
オーナーは現在、全国に34家族。そ
のほとんどがリピーターです。昨年
は東京からも、収穫に訪れました。
まずは遊子川を知り、ファンに



「遊子川が好き。すっかり魅了されています」
山口勝史さん 佑子さん（松山市）

「ここのトマトは本当においしい。
毎年、収穫を楽しみにしています」
宇和島市から参加のご夫妻。



冷製パスタの味付けは、
リコピンス特製のドレッ
シングのみ。



収穫したての完熟トマ
トを、もりあげ隊メン
バーがその場でカッ
ト。「味見をどうぞ」。

「ぼくのだよ」



なってもらいたい。それが何年か後、
移住につながればと考えています。

映画がきっかけ 遊子川はデートスポット？

「びっくりするくらい山奥。でも、
人が温かくって居心地が良いから、

何度でも来なくなるんです。ファン
になっていますね」

8月末、トマトの収穫体験にやっ
て来た山口佑子さん（松山市）は、
遊子川ファン歴3年です。きっかけ
は、松山市の映画館で「食堂ゆすか
わ」を鑑賞したこと。美しく、穏や
かで、ゆったりとした雰囲気引き
込まれました。

「映画館を出たら、リコピンズのお母さんたちが遊子川産のトマトを使っ
たピザやパスタを販売していま
した。食べてみたらとてもおいしく
て、実際に訪れてみたいと興味が湧
きました」

当時、もりあげ隊が企画していた
モニターツアーに参加。実際に訪れ、
地域の人と交流してみると、ますま
す魅了されていきました。

「それから毎年、事あるごとに訪
れています。私たちにとってはデー
トスポット。トマトの定植や収穫体
験はもちろん、お祭りにも参加して
います。遊子川の人たちに会いたい
と思うし、本当に、どの場所よりも
多く訪れていますね」

夫の勝史さんにとっても、お気に
入りの場所。恋人時代も、夫婦になっ



遊子川のトマト農家と一緒に、出荷作業。午前10時過
ぎ、リコピンズから差し入れられたおやつはトマト茶漬
け。「さらさらでおいしい！」と前田奈々さん（神奈川県）

田舎なのに攻めてる だからおもしろい

もりあげ隊は、積極的に移住体験
ツアー客も受け入れています。

8月下旬のこの日、遊子川でトマ
ト農家の出荷作業を体験したのは、
神奈川県から来た前田奈々さんら4
人。割安な価格で地方暮らしが体験
できる市主催のツアーとあって、参
加者のほとんどが関東在住の女性で

す。農作業後は全身汗だくに。それ
が楽しいと笑います。

「昨夜、もりあげ隊の皆さんと交
流会をして、この地の話を伺いまし
た。のんびりしてて、ほっこりした
性格の人が多い印象です。なのに、
地域全体はすごく攻めてる。田舎だ
からといって諦めたり保守的になる
のではなく、新しいことをどんな
しているのがおもしろいし、可能性
にあふれてキラキラしているから、
こちらも元気になる。ぜひまた訪
れたいです」

トマトのおいしさと住民の輝きに
魅了されたという前田さん。友人や
身近な人たちに、遊子川地区の魅力
を伝えたいと思っています。





「新規トマト農家を育てることと、食堂ゆすかわの2階を研修所としてオープンすることが夢です」



人は減るけれど私たちには夢がある。



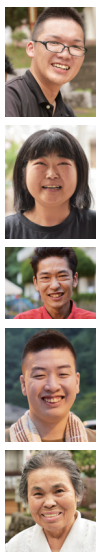
「20～40代の若手は今、約50人。人が減るのは止められんけど、今おるメンバーで団結して、遊子川をもっと盛り上げていくのが夢です」



「耕作放棄地が増えると寂しい。わしも作れんかった田んぼがあるんじゃけど、そこに来年、桜とケヤキの木を植えるのが夢。少しでもにぎやかに、暮らしが楽しくなるよう、自分にできることをやりたいです」



「遊子川を流れる川に、ほれ込んだります。水も岩肌も景観も美しい。元気なうちに川を整備して、PRするのが夢です」



「ここで暮らしたいと思える人が最期までおれるようにするのが夢。やけんこそ『なんでも屋』の仕事を、可能な限り続けたいです」



「遊子川は自分のふるさとじゃけん。これから先も、ずっと残していきたいというのが夢です」



「人は少ないけれど元気に活動しよるのがこの地の誇り。遊子川を離れた人にも『良いふるさと』と思ってもらうことが夢です」



「きょうだい3人で虫採りしたり、自転車に乗ったりして一緒に遊ぶのが楽しいよ。大人になっても、ここで暮らしたいな。だって、みんなに会いたいもん」



「将来のことを考えると、結婚でこの地を離れる可能性も…。でも、遊子川が大好きなのは変わらない。これから皆で盛り上げていきたいです」

「ここには何も無いわい」「増えるのはイノシシばかりよ」というため息は、西勝海さんが「何かせにやけん」と声を上げてから8年、大きく変わりました。

「もりあげ隊がある」
「トマトもある」
「リコピンズもある」
「映画もある」
「食堂ゆすかわもある」
「食堂やトマト収穫、ロケ地巡りなどで、何度も遊子川に来てくれるリピーターさんもできた」
勝海さんの妻久榮さんは「夫が今の遊子川の姿を見たら、それは喜ぶでしょうね」と目を細めます。

かつて、何もない限界集落だった遊子川は、今や全国からも注目される地区となりました。総務省が実施する平成28年度ふるさとづくり大賞では、住民全員で取り組む地域づくり活動が高く評価され、もりあげ隊が総務大臣賞（団体表彰）を受賞。活動拠点である遊子川公民館も、平成28年度に全国優良公民館表彰最優秀館を受賞しました。

住民たちは、語ります。

「私らはただ、当たり前のことを当たり前にしるだけ」
「確かに外から来る人は増えたけど、もりあげ隊ができた当時と比べると、人口は100人も減ったんよ」
「やけんこれから、もりあげ隊をもっと盛り上げていきたい」
「私は移住者と呼ばんで、新規トマト農家として育てたい」
「川を整備して発信したい」
「ふるさとを守りたい」
高齢化が進んだこの地では、きっと今後も人は減る。でも、だからといって「何もしない」という選択肢はない。自分たちがもつと幸せに暮らせるよう、もつと地域が元気になるよう、皆で考えて動きたい。だって私たちには、これからの全員でかえていく、夢があるから。



MINI TOPICS

「奥-1 グランプリ」
初代チャンピオンは...

審査員5人の採点と、会場の拍手で初代王者に輝いたのは、けん玉を披露した松山市の家安高志郎さん(14)です。家安さんは「家でたくさん練習をした成果が出せてよかった」と笑顔を見せていました。



「豚のロデオ」に代わって「奥-1 グランプリ」
三瓶町の夏祭り「奥地の海のかーにばる」を8月13日(日)、朝立港周辺で開催。去年とは趣向が違うイベントに、参加者らは盛り上がりつつありました。
海に浮かんだブイを渡り、ゴールまでのタイムを競う「海上カメ渡り」が、今年は「奥地への誘い」となっており

ニューアル。出場者はブイ中央でくじを引き、運試しをしながらゴールを目指しました。そして今年一番の目玉は、昨年終了した「豚のロデオ」に代わる「奥-1 グランプリ」。自慢の一芸で会場を沸かせようと出場した11組が、歌や踊りなどを披露しました。



「風琴」って、なあんだ?
かすりの着物やわら草履を身に付け、子どもたちが約100年前の授業や遊びを楽しむ「遊べや学べ明治の学校」を7月29日(土)、国重要文化財の開明学校で開催。県内外の小学3〜6年生40人が、明治時代の読み書きや算術を体験しました。

唱歌の授業では、風琴を使ってみんなで童謡を歌います。風琴とは、オルガンのこと。子どもたちは聞きなれた「チョウチョウ」の童謡に、スズメやトンボ、ツバメなど4番まで歌詞があることにびっくりした様子で、楽しそうに歌っていました。



桶を使って昔の暮らしを体験
宇和民具館・旧武蔵が共同で「ワークショップむかし暮らし体験(全4回)」を8月20日(日)に開催しました。「桶」を使った第1回目のワークショップには、市内外から小学生ら11人が参加。たらいで洗濯したり、宇和町在住の桶職人奥野さんの手仕事や企

画展を見学したりしました。
おやつは昭和時代のかき氷機でかいた、かき氷。子どもたちはおいしそうにほおばっていました。
次回は10月1日(日)、「月見だんご作りと雅楽鑑賞」です。宇和民具館(☎62-1334)にお問い合わせください。



2017 愛顔つなぐえひめ国体



ソフトボール(成年女子)
10/1(日)〜3(火)



相撲(全種別)
10/6(金)〜8(日)

「海と山ジオでつながる希望の火」
国体PRイベントin西予として8月19日(土)、宇和球場でソフトボール教室と西予市炬火集火式を開催。ソフトボール教室では、講師としてトヨタ自動車女子ソフトボール部の長崎望未選手と山下りら選手を招へい。市内外から集まった約60人が、日本トッ

ブレベルのプレーを学びました。
炬火集火式では、市内5町の火を集めて西予市の火が誕生。炬火名は、佐伯美津子さん(野村町)の「海と山ジオでつながる希望の火」が選ばれました。この火は、9月30日のえひめ国体総合開会式で、えひめの火となります。



いしづちを駆け 瀬戸に舞え〜

CITY TOPICS

まちの話題をお届けします



島までいかだで競争
手作りのいかだで無人島を一周するイベント「いかだ集会」が8月5日(土)、三瓶町周木で行われました。
旧周木小学校(平成26年3月閉校)が行っていた同イベントを、地域づくり組織「ビリ島むらおこし会」が引き継ぎ実施しているもの。今年は市内外から

156人が参加しました。
台風の影響で島一周はできなかったものの、湾内の約800mを競争した参加者たち。「疲れたけど楽しかった」などと感想を述べ、レース後には、海岸で水遊びや地引き網などを楽しんでいました。





表 彰



マウンテンバイク
日本一
村上裕二郎さん（14）
宇和町信里

JOC ジュニアオリンピックカップ2017 全国ユース選抜マウンテンバイク大会（8月6日、長野県白馬村）U15クラス（13～14歳の部）で、村上裕二郎さんが出場者24人中1位に輝きました。去年に引き続き、2連覇達成です。

コメント「調子は良かったので、逃げ切ることを意識してレースに挑みました。2位を大きく引き離しての優勝です。絶対に負けたくないという気持ちが強かったので、結果を出せたことはうれしく思います。来年高校生になりますが、マウンテンバイクを続けたい。レースのたびに表彰台に乗れるような、強い選手になりたいです」

弾道ミサイル
緊急時は身を守る行動を

弾道ミサイルが発射され、落下する可能性がある場合は、防災行政無線や緊急速報メール、テレビ、ラジオなどから緊急情報が流れます。緊急情報が流れたら、直ちに次のような行動を取ってください。

【屋外にいる場合】

ミサイル着弾時の爆風や破片による被害を避けるため、近くのできる限り頑丈な建物や地下（地下室や地下街、地下駅舎などの施設）に避難する。

近くに建物がない場合は物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭部を守る。

近くに落下した場合は、口と鼻をハンカチで覆い、現場から直ちに離れ、密閉性の高い屋内または風上へ避難する。

【屋内にいる場合】

できるだけ窓から離れるか、窓のない部屋に移動する。近くに落下した場合は換気扇を止めて窓を閉め、目張りをして室内を密閉する。

☎ 危機管理課 ☎ 62-6491

まち・ひと・しごと創生総合戦略
事業評価委員会で「相当程度効果あり」

人口減少に歯止めをかけるため策定した「西予市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、平成28年度に推進した国の地方創生加速化交付金事業と地方創生推進交付金事業について、7月25日（火）、まち・ひと・しごと創生総合戦略事業評価委員会で、評価を行いました。

【地方創生加速化交付金事業】

西予市と市産品のイメージアップを図るために、ジオの至宝ブランド推進体制を確立。市独自の取り組みであるジオパークと音楽を融合し、インターネット上で音楽コンテストや動画コンテストを実施し、内容を充実させました。

【地方創生推進交付金事業】

まちのにぎわい創出を目指して住

民組織を結成。まちの将来像に関する基礎調査と解析を行いました。起業創業のための施設整備や創業資金も支援。その他県と連携し、自転車による交流人口を拡大しました。

委員会が出た意見は、次のとおりです。

●ジオミュージックを貸し出しできる施設を増やしてはどうか

●「ジオの至宝」専用ウェブサイトがあるのにあまり知られていないのはもったいない、積極的なPRが必要ではないか

●新規養蚕農家への経済的支援を検討してはどうか

●地方創生の交付金を使った事業が市民に十分に知られていないのではないかと、分かりやすく伝える努力が必要ではないか

行った事業は地方創生に効果があったと評価されました。評価の詳細は市ホームページで閲覧できます。市ではこの意見を参考に、一層地域活性化を推進していきます。

☎ 総合政策課 ☎ 62・1455

「おがくずの花」



8月13日、奥地の海のカーニバル内で、高校生たちが宇和町産のヒノキを削ってできたおがくずから「木工フラワー」を製作しました。

捨てられてしまうおがくずから花ができる。薄く削られたおがくずは肌触りも良く、いい香りがします。地元木材の魅力を知ってもらおうキッカケになったと思います。（ペンネーム 俊さん）

おがくずが、こんなにきれいな花になるなんて。良い香りもするのと、インテリアにもなりそうですね。

「お帰りなさいー」

野村町横林地区では、今年2月に大火災がありました。罹災された方々は、それぞれの場所で生活されています。ぽっかりと空いてしまったこの場所へ、ようやく1世帯の方が帰って来られました。「お帰りなさいー」

これからまたこの場所で、新しい思い出を刻んでいってほしいと、心から思います。



（ペンネーム・リトルミィさん）
大火災から半年。古里に人が戻ってくるのはうれしいですね。「お帰りなさいー」

私たちの「声」が主役のコマー



せいよクラブ

Say!YO!CLUB

お便り募集

「最近ハマっている食材」や「子どもの発言に思わず感動したこと」など、身近な話題を募集中。

紙面の感想はもちろん、うれしかったこと、新たな気づき、びっくりしたことなどをお寄せください。

自作の絵ハガキや家族写真、自慢のペット紹介や西予市の風景写真なども大・歓迎！

▶お便り方法

ペンネーム可。ハガキ、FAX（☎ 0894-69-1622）、メール（jouhou@city.seiyo.ehime.jp）にて。

メールの場合は題名に「せいよクラブ」と記載してください。写真データは2MB以下限定（現物不可）。文章は紙面の都合上、調整させていただくことがあります。

▶注意事項

コーナーの特性上、行政への要望や個人を誹謗・中傷するもの、勧誘行為などにあたる内容は、掲載できません。

いただいたお便りは情報推進課内で選定の上、掲載します。全てのお便りが掲載されるわけではありませんので、ご了承ください。

▶送付先

〒797-8501

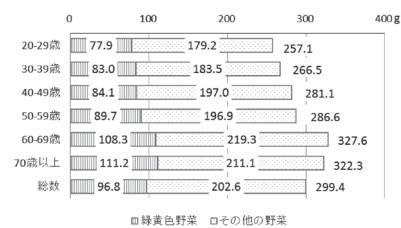
愛媛県西予市宇和町卯之町三丁目434-1 西予市役所情報推進課「せいよクラブ」宛

もう1皿 野菜を食べよう

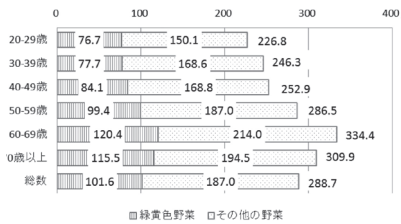
野 菜の目標摂取量は、1日5皿分（350g）です。

平成27年の「国民健康・栄養調査」結果によると、1日の野菜摂取量は男性299.4g、女性288.7gでした。男女とも1皿分不足しています。

野菜摂取量（男性）



野菜摂取量（女性）



▶野菜を350g 食べるコツ

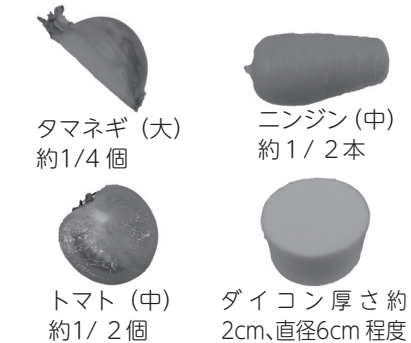
- ・1日3食に少しでも野菜のおかずを取り入れる
- ・不足しがちな朝食に意識して1皿プラス

▶野菜のメリット

ビタミンやミネラル、食物繊維が多く含まれているので、生活習慣病やがんの予防に効果があります。

野菜のおかずを今より毎日、1皿（70g）プラスすることを目標にしましょう。

▶1皿分の野菜量の目安



健康づくり推進課 ☎62-6407

「ヒアリ」に注意



ヒ アリとは漢字で「火蟻」と表され、刺されるとやけどのような激しい痛みを生じます。毒性が強く、毒針で刺されるとアレルギー反応で死に至ることもあります。

南米中部原産のアリですが、現在では中国や台湾にも生息し、日本でも今年5月に兵庫県で発見されました。

▶ヒアリの見分け方

専門家が顕微鏡を使って観察しなければ判断できませんが、疑いの有無は肉眼でおおよそ分かります。

- ・体が全体的に赤っぽい
- ・動きアリの大きさが2.5mm～6.5mm とさまざま

▶刺された場合の症状

軽度なら痛みやかゆみ、中度ならじんましん、重度の場合は呼吸困難や血圧低下、意識障害など。重度の場合は急激に症状が出るアレルギー反応の可能性が高く、処置が遅れると命の危険を伴います。

▶処置の方法

ヒアリの毒への反応は人によって大きく異なります。

刺された直後は安静にして、体調の変化がないか注意しましょう。容体が急変した場合は、すぐに近くの医療機関（救急受け入れのある病院ならなお良い）を受診しましょう。

市消防本部 ☎62-0119

脳卒中のFAST メッセージ

脳 卒中は日本人の死因第4位、要介護原因の第1位で、脳卒中の約75%が脳梗塞となっています。

脳梗塞の治療は「詰まった血管をいかに早く元通りにするか」に尽きます。時間が短ければ短いほど脳のダメージも後遺症も少ないのです。

ただ難しいのは、ある程度時間が経過した状態で血流が再開すると大出血を起こし、重篤な後遺症を残したり、命を落としたりする場合があることです。そこで、詰まった血栓を溶かす薬が使える時間は発症後4.5時間以内と決められています。使用前には検査が必要なため、発症後3.5時間以内には病院に到着していないと、この

薬は使えません。要するに「いかに早く病院に到着するか」が非常に重要です。そこでぜひ「FAST メッセージ」を覚えてください。

- ① F…顔（face）のゆがみ
 - ② A…腕（arm）の脱力
 - ③ S…言葉（speech）の障がい
- この3つのうち、どれか一つでもあれば④T 発症時間（time）を確認し、救急車を要請せよというメッセージです。発症後、例えすぐに元通りになったとしても、非常に危険な状態であることに変わりありません。

「顔」、「腕」、「言葉」の障がいどれか一つでもあれば、発症時間を確認し、すぐに救急車を呼んでください。（樋口脳神経外科 樋口亨）

乳がんを知ろう⑥

若い人に有効 エコー検査

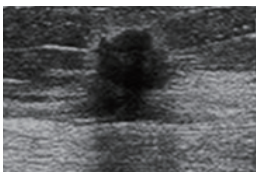


西予市民病院院長
末光浩也（愛媛大学医学部臨床教授）

今 回は乳腺超音波（エコー）検査を紹介します。

▶妊娠中でも安心

超音波検査は乳房に超音波を当てて行います。人体に無害なので、妊娠中の人も安心して受けられます。この検査はしこり（腫瘍）を映し出すことに優れており、しこりに関してはマンモグラフィー検査よりも有効です。触診で分かるものはもちろん、触診では分からない5mmの大きさのしこりも写し出すことができます。



超音波検査で見た乳がん

▶若い人に有効、だけど…

若い人は乳腺が発達しているため、マンモグラフィー検査では全体が白く写ること（高濃度乳腺）が多いので、超音波検査の方が特に有効です。超音波検査は乳腺と乳がんのしこりの判別が容易ですが、マンモグラフィー検査のように小さい石灰化を見つけることはまず無理です。それぞれに長所と短所があるので、どの検査を受けるかは医師と相談してくださいね。

この他にはCTやMRI、PET-CT検査などもあります。がんの広がりをおおきく調べて、手術で乳房を切除する範囲を決めるにはMRIが有効です。

西予市民病院 ☎62-1121

西予警察署から ☎ ☎62-0110

詐欺への対策

▶こんな電話は詐欺

- ・介護施設の入居申し込みの名義を貸してください
- ・おれだけ…番号が変わったよ
- ・医療費や税金の還付金があります
- ・パンフレットが届いた人しか買えないので、代わりに買って

このような内容の電話があれば、家族や警察に相談してください。

▶だまされないために

あやしい電話には「警察官の親」になりすましてください。「県警に勤めている息子（娘）に相談してから…」と返事をしましょう。

▶だまされたふり作戦に協力

だまされたふりをして、電話の内容や犯人の電話番号などをメモし、いったん電話を切った後、すぐに西予警察署（☎62-0110）に連絡をお願いします。

みんなの人権ひろば

人権研究大会 「他人事としない」

第 64回四国地区人権教育研究大会が7月13日（木）14日（金）に、松山市で開催されました。目的は「これまでの同和教育の成果と手法を大切にしながら、人間の尊厳と人権の確立を目指した研究と実践の交流を通して、今後の人権教育のあり方とさまざまな人権問題を解決する実践の道筋を明らかにすること」です。

▶差別落書きが発端

研究発表や協議など、6分科会が13会場で開催される中、本市小学校教諭による発表がありました。

地域の中で発見した差別落書きに端を発し、差別をなくしたいという強い思いから、児童と共に熱心に活動した取り組みです。市内の各小中学校にも広げたい内容で、とてもすばらしかったです。

以下、西予市からの参加者の感想（抜粋）です。

- ・人権確立に向けた教育のあり方を知ることができました。教えるだけでなく、経験して分かることもあるということを知りました。
- ・ある市の職員が、研修の際に差別的講演を行ったことを知りおどろいた。普段から人権感覚を磨いておくこと、他人事と捉えないことが大切だと感じた。
- ・誰であろうと具体的に差別解消に取り組む姿からこそ、実践する意欲につながるものが得られると思う。差別解消に取り組む姿がすばらしく、美しい。

生涯学習課 ☎62-6415

せいよの最・先・端が分かる

地域づくりなう



咲かせたい 石城産レンゲの花

今 年度の手上げ型交付金事業では、初挑戦の地域づくり組織の申請が多くありました。その中でも、第1回の審査会で2事業の採択を受けた「石城ロマンの里応援隊」が動き出しています。

「レンゲの里づくり事業」では、6月に地元のほ場で咲いたレンゲを刈り取って種を採取。海外産ではない地元石城のレンゲの花をこれまで以上に咲かせ、来春にはピンクのじゅうたんを敷き詰めたような、かつての美しい石城の景色を取り戻そうとがんばっています。

宇和わらぐろの会の活動休止を受けて、先人の知恵であるわらぐろ作りを地域づくり組織が引き継ぎ、後継者育成も行う「石城平野のわらぐろを守る事業」も着々と進んでいます。

まずはやれることから。自分たちのペースで進めています。

問 まちづくり推進課 ☎62-6403



みんなで楽しく GEO ってこー！

味噌汁におたまじゃくし？

開 拓から始まった大野ヶ原のなりわいや、当時の人はなぜ大野ヶ原に入植したのかなど、営みとジオの係を知るツアーを8月20日（日）に開催しました。

入植当時のことを、開拓1世の黒河高茂さんにお話しいただきました。凍てつく冬の寒さの中、電気や水道もない状態で道路や家を造ることから始まり、農地を作った後も気候に合う作物を試さなければならぬ、大変厳しい生活だったそうです。なんと、夜に池で汲んで作った味噌汁には、おたまじゃくしが入っていたとか。

三瓶町から参加された人の親戚にも開拓1世がおられ、「なつかしい」との声が聞かれました。

ハーブ媛ヒラメの押し寿司が入った豪華ジオ弁当を食べた後は、源氏ヶ駄場を散策。集落を見下ろしながら、大野ヶ原が昔は海の



中だったこと、白く見える石は石灰岩で雨水に溶けやすいこと、そのため広大でなだらかな地形ができ、開拓地として選ばれたことをジオガイドが説明しました。

今後も、ジオツアーを開催します。日時などは広報せいよでお知らせしますので、ぜひ参加してみてくださいね。

問 まちづくり推進課 ☎62-6403

ジオパーク再審査 日程決定！

11月14日（火）～16日（木）の3日間、審査員が市内を見て回ります。詳しい情報は分り次第、お伝えします。

知ればうれしい、まちの歴史

込められたメッセージ

「よみがえらないで」

古 墳の上で行われた葬送儀礼一つまり、古墳でのお葬式一について、7月に開催した笠置峠古墳の展示とシンポジウムでご紹介しました。

儀礼の背景にある当時の人々の考えは、一体どのようなものだったのでしょうか。

▶死に対する考え方

古墳時代前・中期の古墳では王の遺体や副葬品を棺に入れて、ふたをします。棺の外には鏡などを並べ立てることもあります。棺を納め保護する施設は槨と呼ばれ、槨にもふたをし、隙間は粘土で目張りします。さらにその上に土を盛り上げます。こうしてみると、外からの侵入や外に出ることを防ぐために入念に密封していることがうかがえます。

古代中国において、人の死とは肉体的な要素である「魄」と、精神的要素である「魂」とが分離することとされ、魄は地に帰って鬼魂

に、魂は天に上って祖霊（先祖の霊）になると理解されていました。古墳の棺や槨はこの魄を密封する施設で、儀礼によって邪悪なものが寄り付かないようにし（辟邪といいます）、邪悪なものが付いた魄（遺体）が暴れ出てこないようにしていたと考えられています。背景には、当時の中国の死に対する考え方があったようです。

▶災いを引き起こす？

現代なら、亡くなった人の家族や近しい間柄であれば死は受け入れがたく、できればよみがえってほしいとも思うでしょう。もちろん、古墳時代にも死者を悼み深く悲しむ気持ちはあったでしょうが、よみがえると災いを引き起こすとも考えることもあったのです。古墳での儀礼には「よみがえらないでください」という願いも込められていたのでしょうか。

問 文化体育振興課 ☎62-6416

気付きのポイントはここ お年寄りの消費者被害

お年寄りを消費者被害から守るためのポイントは、家族や周囲の人の見守りと気付きです。

日頃からお年寄り本人の居宅の様子や、言動・態度などに変化や不自然なところがないか、気を付けましょう。おかしいと感じたら、できるだけ早くご相談ください。

▼気付くためのポイント

（1）見慣れない人や、車が頻繁に出入りしている

（2）見慣れない段ボールや商品、荷物などが

家の中にある

（3）頻繁に電話がかかっている

（4）急に親しい人ができたようだ

（5）急にお金に困った様子が見られる、反対に急に羽振りが良くなった

（6）特定の商品を買うよう、強く勧めてくるようになった

（7）カレンダーに不審な印が付いている

（8）突然の電話におびえたり、焦ったりしている

▼変化に気付いたら

決して叱らずに、まずは事実を確認しましょう。叱ると本音を隠すようになり、問題解決が難しくなります。

被害にあっている恐れがあれば、お電話ください。

問 市消費生活センター ☎62・1285

図書館っておもしろい

0歳から100歳まで 図書館活用術

自 分の時間を心地よく過ごせるのも、図書館の醍醐味。ぜひ、お越しください。

▶開館時間

市民図書館には中央館と8つの分館があります。開館時間や休館日は館ごとに違うので、事前に確認してください。

▶利用するには

本やDVDなどを借りる場合は、図書利用カードの作成が必要です。

▶読書相談や予約

読みたい本が棚にない場合、遠慮なくご相談ください。館として購入を検討するのはもちろん、愛媛県立図書館や、全国の図書館から借用するなどして（四国の公共図書館以外は、往復送料自己負担）、できる限り調達します。

▶インターネット予約

市ホームページ内の「図書館情報」から、本の検索と予約ができます。予約をする場合は、事前申込が必要です。

▶調べもの案内

楽しみのための読書の他、図書館には「分からないことを調べる」機能があります。どんな資料があるのか、どれを見たら良いのか、「？」の場合はご相談ください。

▶複写サービス

中央館と野村分館では、著作権法に基づき資料の一部を有料でコピーします。

▶遠隔地返却サービス

愛媛県立図書館で個人で借りた本を、近くの図書館に返却できます。県立図書館で借りる際に遠隔地返却の申し込みが必要です。（無料）

問 市民図書館 ☎62-6420

PICK UP

10/22 (日) せいよこどもグッズまつり



マイバック持
参で来てね!

まだまだ使えるにもかかわらず、不用になった子ども用品。それらを「必要な人に役立ててほしい」、「資源の有効活用につなげたい」との思いから、「せいよこどもグッズまつり2017」を開催します。

今回も活動資金として、寄付を受け付けます。ご協力をお願いします。

【不用品募集】

ご家庭に眠っている子ども用品を提供いただけませんか。乳幼児から中学生までが使用できるものなら何でもOK。集まった品物は当日、来場者にお持ち帰りいただきます。

▶子ども用品例

衣類（洗濯したもの）、おもちゃ、絵本、CD、ベビーカー、ベビーバス、チャイルドシート、三輪車、自転車、制服、体操服、学習机など。大型商品は部品などの確認をお願いします。

▶回収期間

10月16日(月)～19日(木)

▶回収場所 お近くの各地区公民館

【こどもグッズまつり開催日】

大型商品のじゃんけん大会は、午前10時からです。

▶日時

10月22日(日) 午前9時～11時

▶場所 宇和体育館(雨天決行)

問 生涯学習課 ☎ 62-6415

6月に募集しましたが、応募がなかったため条件を見直し改めて募集します。希望する法人・団体は、要項など(市ホームページに掲載)を確認の上、必

「文化の里休憩所」 指定管理者を再募集

問 県地域政策課 ☎ 089・912・2235

▼応募方法
所定様式を、メールまたは郵送
▼募集開始 10月1日(日) から
▼募集開始 10月1日(日) から
図柄の選定にあたり、意見を募集します。詳しくは県ホームページをご覧ください。
ナンバーを設置できるよう、準備を進めています。



10月の「いきいき学級」受講生募集。

一緒に作ろう 「ハーバリウム」

問 先哲記念館 ☎ 62・6700

▼所在地 宇和町卯之町三丁目2番地
▼募集期間 9月上旬から1カ月程度
▼先哲記念館 ☎ 62・6700
要書類を提出してください。
【文化の里休憩所とは】
卯之町の町並みを訪れる観光客やお遍路さんの休憩所、地域住民の集会所などにも利用されています。市は建物内部を一部改修。これまでの機能は残しながら、四国西予ジオパークの案内や市特産品販売の強化を図り「観光まちづくり」の拠点とします。

問 生涯学習課 ☎ 62・6415

特殊な液体の中に植物を閉じ込め、きれいなまま長く鑑賞することができるインテリア、「ハーバリウム(植物標本)」を作ります。
▼日時 10月18日(水)
午後1時30分～3時30分
▼場所 教育保健センター4階
▼申込期限 10月4日(水)
▼準備物 ハサミ、エプロン
▼受講料 2000円
(追加で作る場合、2本目から1000円)



問 文化の里スポーツクラブ ☎ 62・4414

▼日時 10月22日(日) 午前9時～正午
▼場所 宇和運動公園内多目的広場
簡単なルールで楽しめるグラウンド・ゴルフ大会。親子で一つのボールを交互に打ち、最少打数を競います。8ホール・3ラウンド。上位入賞者に賞品あり。

親子でグラウンド・ ゴルフ大会

イベント



情報掘り出し市 

Information market

仕事や生活、趣味に役立つ最新情報をお届けします。
パラパラめくって、気になるものをチェック!
自分にぴったりの「掘り出し情報」が、きっと見つかります。



PICK UP

子育ての援助 受たい人 援助したい人を募集



ファミリー・サポート・センター事業、通称「ファミサポ」は、子育ての援助を受たい人(依頼会員)と援助したい人(提供会員)でつくる、有償の会員組織です。

利用には会員登録が必要です。今すぐには利用しないけれど、今後利用するときのために登録したいという人も大歓迎。

▶参加資格

依頼会員は生後6カ月から小学校6年生までの子どもがいる人。提供会員は20歳以上で、子育てを応援したい人。

▶主な援助(一例)

- ・保育所、幼稚園、小学校や学童保育、習いごとへの送迎や前後の子どもの預かり
- ・買い物や外出時の子どもの預かり

▶認められない内容

病児の預かりや、宿泊を伴うものなど

▶利用料金 1回30分で300円

30分を超えるごとに300円加算

まさかの事故などに備えて、会員は「ファミサポ補償保険」に加入します。

▶活動までの流れ

会員登録→援助依頼の申し込み→援助の提供紹介→事前打ち合わせ→援助活動

問 市ファミリー・サポート・センター

(子育て支援課内) ☎ 62-1520



看護師になりませんか

募集



市内の看護師は、まだまだ不足している状態です。看護師は県内就職率100%。安定した収入が見込めるのはもちろん、人の命と向き合えるやりがいのある職業です。
市では奨学金制度を設けて、看護師を目指す人を支援しています。ぜひ、

西予市に對し、ふるさと納税をした人に、お礼の品として地元の特産品などを贈呈しています。
現在、返礼品提供に参加す



自慢の一品 返礼品として全国に

西予市で看護師として働きませんか。
【進路相談実施中】
県看護協会では、看護師になるための進路相談を実施しています。詳しくはお問い合わせください。
問 県看護協会 ☎ 089・923・1287
西予市民病院 ☎ 62・11121
野村病院 ☎ 72・0180



どのみきゃんがいい? 自動車ナンバープレート

県では平成30年から、希望する人は自動車の愛媛ナンバーにみきゃん柄の

問 まちづくり推進課 ☎ 62・6403
▼募集期間 10月1日(日)～20日(金)

る事業者や特産品などを募集中。自慢の一品を全国に届けてみませんか。宣伝効果はもちろん、販路拡大につながる可能性があります。



高川地域づくり会ら 市民訪問団が「黒松内町」を訪問

北海道黒松内町との姉妹市町提携 20 年の絆の強さを再認識しようと、今年度は市長や市議会はもちろん、市民訪問団として地域づくり組織「高川地域づくり会」など総勢 20 人が、7 月 29 日（土）～ 31 日（月）まで黒松内町を訪問。イベントでの交流のほか、西予市の PR などを行いました。以下、高川地域づくり会の感想です。



【団長：玉川浩幸さん】 高川地域づくり会ではフットパス事業に取り組んでいます。今回、先進地である黒松内町のフットパスコースを体験し、当会が目指している「フットパスとジオパークとリンクさせた動き（フットジオ）を市内に広げる」という目的達成のために多くのことを学びました。	【副団長：立山久恵さん】 黒松内町の方々が一生涯懸命いきいきと笑顔でおもてなしくださったり働いたりする姿が西予市の地元と似ていると思いました。西予市のブナの森を守り続け、フットパスが市内に広まり、健康で楽しく暮らせるまちづくりの一助になればいいなと思う研修でした。	【恵比寿明美さん】 黒松内町との交流にはかつてから興味がありました。ブナが取り持つ交流の絆を体感し、特に両市町のブナの違いに感銘を受けました。心温まる歓迎をしていただき、忘れられないひとときになりました。	【宮内友也さん】 町長さんをはじめ多くの方に歓迎いただき感銘を受けました。フットパスの先進地でもある黒松内町のコースを体験し勉強になりました。機会があれば黒松内町の別のフットパスコースを歩いてみたいと思います。	【前田和美さん】 高川地域づくり会でフットパス事業に取り組んで 2 年目。今回、先進地でもある黒松内町で、市長や議員の皆さまと一緒に歩きながら勉強や交流ができて、事業の PR などを進めていく良い機会となりました。
---	---	---	--	--

事業主さんへ 障がい者雇用の注意

平成 30 年 4 月 1 日から、障がい者の法定雇用率が引き上げとなります。
▼ 注意点

● 無料で歯科口腔健診を受けられるのは、1 年度内につき 1 回です。
● 重複受診が判明した場合は費用を請求しますので、ご了承ください。
● 歯科口腔健診は無料ですが、その後治療が行われる場合は有料です。
● 県後期高齢者医療広域連合 ☎ 089・911・7733

後期高齢者 無料の歯科口腔健診

無料で受けられる歯科口腔健診です。
● 対象者
愛媛県後期高齢者医療の被保険者。ただし、病院や診療所に 6 カ月以上継続して入院している人や、施設に入所・入居している人は対象外。
● 受診期限 平成 30 年 2 月 28 日（水）
● 申込方法
希望者は電話で申し込みください。
クーポン券、受診票、質問紙、登録歯科医院一覧表をセットにして郵送します。

従業員の退職金 計画的に準備

● 中小企業退職金共済制度（中退共）は、中小企業の事業主が、従業員の退職金を計画的に準備できる国の退職金制度です。毎月の掛け金を収めることで、従業員が退職したときは、中退共本部から退職者へ直接退職金を支払います。
● メリット
・ 掛け金の一部を国が助成
・ 掛け金は全額非課税
・ パートタイマーや家族従業員も加入可能
・ 外部積み立てで管理が簡単
・ 他の退職金や企業年金制度などとの資産移換も可能

● 問 中小企業退職金共済事業本部
☎ 03・6907・1234

● 問 愛媛労働局職業対策課
☎ 089・941・2940

（1）障がい者の雇用率が現行 2・0％から 2・2％になります（3 年を経過する日より前に 2・3％）
（2）障がい者の雇用状況の報告義務の対象となる民間企業の範囲は、雇用労働者数が常時 50 人以上から 45・5 人以上の民間企業となります（3 年を経過する日より前に 43・5 人以上）

明浜でシーカヤック ツーリング

大早津海水浴場から海岸沿いに 8 km のディーツーリング。穏やかな海を滑るように進むカヤックは爽快感抜群。途中上陸し、明浜名物ちりめん丼に舌鼓。

▼日時 10月21日（土）午前9時～午後4時
▼場所 大早津海水浴場（明浜町高山）
▼料金 中学生以下 1500 円
高校生以上 3000 円

● 問 明浜支所産業建設課 ☎ 64・1287

農林水産参観デー 日程変更

毎年 10 月 1 日・2 日に開催している農林水産参観デー。今年に限り日程を 10 月 13 日と 14 日に変更します。開催場所は農林水産研究所と果樹研究センター（松山市）。

● 問 農林水産研究所 ☎ 089・993・2020

合計 6 人子連れ再婚 肝っ玉母さんの講演

第 16 回人づくりを考える集い。講師は、6 人の子どもたちに起こるトラブルを、家庭や地域、学校を巻き込んで大胆に解決してきた吉野由美さん（熊

がんばれせいよの アスリート！ アーティスト！

【アーティスト部門】
第 84 回 NHK 全国音楽コンクール愛媛県コンクール（8 月 4 日、松山市民会館）
〈小学校の部〉銀賞：宇和町小学校合唱部

【アスリート部門】
第 33 回全国小学生陸上競技交流大会愛媛県最終選考会（7 月 17 日、愛媛県総合運動公園）
〈男子小学走高跳〉1 位：粟野直人（宇和町小 6）1m20cm 〈女子 5・6 年 80mH〉1 位：松本葵（宇和町小 6）13 秒 78 〈女子小学走高跳〉1 位：廣田結音（宇和町小 6）1m31cm 〈女子 5 年 100m〉1 位：片山亜紀（宇和町小 5）14 秒 52 〈女子小学走幅跳〉2 位：原田藍（宇和町小 6）4m13cm 〈女子小学ジャベリックボール投げ〉3 位：薬師寺美優（宇和町小 6）39m41cm 〈女子小学 4 × 100m〉1 位：清水ことね（三瓶小 6）56 秒 14

第 69 回愛媛県中学校総合体育大会（7 月 22 ～ 26 日、愛媛県武道館ほか）〈柔道女子個人 63kg 級〉1 位：稲田愛華（宇和中 3）〈陸上男子共通 800m〉2 位：松崎太星（宇和中 3）2 分 04 秒 49 〈バドミントン男子シングルス〉3 位：川上颯太（宇和中 3）〈相撲団体〉1 位：野村中学校相撲部

第 63 回全日本中学校通信陸上競技愛媛県大会（7 月 1 日・2 日、愛媛県総合運動公園陸上競技場）〈男子共通 800m〉3 位：松崎太星（宇和中 3）2 分 03 秒 47

手話うたコンサート

西予市出身の手話うたパフォーマンス藤岡扶美 With 津軽三味線奏者堀尾泰磨による手話うたコンサート。
言葉の美しさを感じてください。全席自由。3 歳以下無料。

▼日時 10月15日（日）午後2時開演
▼場所 宇和文化会館
▼入場料 中学生以下 1000 円
大人 2500 円（当日券 3000 円）
● 問 宇和文化会館 ☎ 62・6111



CATV で番組 「いいやん！西予」開始

10 月 1 日から西予 CATV きらりチャンネルで、西予市行政情報番組「いいやん！西予」が始まります。
市職員が出演し、事業の紹介やイベントの案内など、旬な情報をお届けします。内容は毎月、1 日と 15 日に更新予定。毎日放送します。



● 問 情報推進課 ☎ 62・6404



白血病などの難病 救うのはあなたかも

毎年約 6000 人が突然白血病などの血液難病にかかっています。彼らの命を救うには、骨髄移植など以外には治療法はありません。移植を成功させるには白血球の型（HLA 型）を一致させる必要がありますが、兄弟姉妹間で 4 分の 1、他人では数百から数万分の 1 の確率でしか一致せず、まだ多くの患者が移植を受けられないでいます。

一人でも多くの患者を救うために、ドナー登録をお願いします。18 歳から 54 歳までの健康な人が対象。ドナー登録は約 2 ml の採血で済みます。
● 登録場所 八幡浜保健所（月のみ）
☎ 0894・22・4111
宇和島保健所（火のみ）
☎ 0895・22・5211

● 問 県庁業務衛生課 ☎ 089・912・2391



相談



女性特有の
体と心の悩み（予約制）

婦人科疾患などの悩みなどに、保健
所医師や保健師が応じます。秘密厳守。

▼面接相談 10月17日（火）

午前9時30分～11時30分

場所 八幡浜保健所

問 八幡浜保健所 健康増進課

☎0894・22・4111

子育て相談

子育てに不安を感じる保護者の相談
に応じます。相談日以外でも対応可能。

▼日時

10月5日、12日、19日、26日（いず

れも木曜日）午後1時30分～3時30分

場所 宇和文化会館裏大駐車場内事務所

担当 せいよ家庭教育・子育て応援グループ

▼相談番号 ☎69・1023

問 生涯学習課 ☎62・6415

難病相談

療養上の不安や悩みを軽くし、生活

の質向上を目指します。難病の人や、そ
の家族が対象。まずはお電話ください。

▼面接相談 10月12日（木）※予約制

午後2時～4時

問 八幡浜保健所 健康増進課

☎0894・22・4111

生活に困ったら

暮らしや就労、子育て、介護、障が

いなどの悩みに応じる福祉相談。一人

一人の状況に対応します。

▼田之浜公民館

10月11日（水）午前10時～正午

問 惣川公民館

10月25日（水）午前10時～正午

問 市福祉総合相談センター ☎62・1150

社会保険労務士の
無料相談会

解雇や退職といった労働問題や、年

金などの無料相談会。

▼日時 10月29日（日）午前11時～午後5時

場所 オズメッセ21ほか県内4カ所

問 愛媛県社会保険労務士会

☎089・907・4864

高い証明力「公正証書」

10月1日（日）～7日（土）は公証

週間です。期間中、無料電話相談を実施。
法律行為を確実にするため公正証書を
作成したり、認証を受けてみませんか。

問 宇和島公証役場

☎0895・25・2292

結婚相談

本人はもちろん、家族からも可。

▼教育保健センター

10月5日（木）午後4時～7時

▼総合センターしろかわ

10月20日（金）午後2時～4時

行政相談

10月には行政相談週間があります。

行政全般に関する意見など、「ご相談く

ださい。行政相談委員（上田基正さん・

西田光和さん・三好幸一さん・滝上範

子さん・兵頭三樹さん）が対応します。

▼高山公民館

10月17日（火）午前9時30分～正午

▼市役所1階相談室

10月4日（水）午前9時30分～正午

▼野村林業総合センター

10月2日（月）午前9時～11時

▼総合センターしろかわ

10月20日（金）午前9時30分～正午

▼三瓶支所

10月17日（火）午後1時～3時

（記）（後）（集）（編）

おいしい、楽しい、美しい。遊子川のことを思い浮かべると、この3語が同時に出てきます。トマトやリコピズさんの料理が、とにかくおいしい。もりあげ隊のメンバーが元気で、話していると楽しい。そして風景が美しい。個人的には平岩や柳沢の景色が好きです。「あ、ここ映画で見た！」と、胸が躍ります。何度も遊子川に訪れたくなる人の気持ち、分かるなあ。ちなみにリコピズさんたちからはいろんなレシピも教えていただき、さっそく自宅で実践しました。「なにこれ、おいしい！」と夫大喜び。すっかり遊子川ファンになっている私ですが、一番ファンになっているのは、実は夫かもしれません。（堀）

人権相談

差別や体罰、いじめ、変なつわさを立てられた場合は、独りで悩まず相談を。

▼野村公民館

10月10日（火）午後1時～3時30分

▼三瓶支所

10月11日（水）午後1時～3時30分

心配ごと相談

日常生活での悩みごと、困りごとなどを相談できます。予約不要。

▼野村保健福祉センター

10月17日（火）午後1時～3時

▼高山公民館（明浜町）

予約先：市社会福祉協議会 本所
☎72・2306

▼市社会福祉協議会 宇和支所

10月20日（金）午後2時～4時

予約先：市社会福祉協議会 宇和支所

☎62・2000



8月提出分（敬称略）。親族の承諾を得て掲載しています。掲載を希望しない場合は届出の際にお伝えください。この記事を営利目的に利用することを禁じます。

西予での暮らしや活動を楽しむ人の「^{せい かつ}西活」を、ちょっとしたぞき見。知ればきっと、毎日がもっと輝くはず。



宇都宮 弘義さん (65)
= 宇和町田野中 =

わたしの^{せい かつ}西活

キーワード
Keyword

目指せ日本一

5月初めに苗を植えて、3カ月で約300kg。このカボチャは食用ではない「アトランティック・ジャイアント」という品種で、きちんと世話をしたら1日で約10kg太る時期もあるんですよ。

ご近所さんが作りよのを見て、毎日大きくなっていくのがおもしろくて、苗を分けてもらってからカボチャ作りに魅せられました。お金にはならんし食べられもせんけど、今ではすっかり生きがいに。試行錯誤が楽しいです。

去年は340kgまで育ったものを、小豆島の「日本一どてカボチャ大会」に出品しました。結果は全国7位。1位は462kgでした。壁は高いけれど、届きそうと感じました。

夢は、どてカボチャで日本一。どうしてもかなえない目標です。実は今年、1番大きく育った本命くんが腐ってしまって大ショック。今はサブくんに期待しています。全国大会は9月17日なので、この紙面が届く頃には結果が出ていますね。今年は難しくても来年、皆さんに良いお知らせができればいいな。

有料広告

法的知識で中小企業をサポートします
村上勝也法律事務所
いつでも弁護士に相談できる安心感を！

新しい形の顧問契約を
ご提案します。 毎月の
顧問料は **5,000円(税別)**

年間6時間まで相談、書類チェック、簡易な調査等承ります。

まずはお電話下さい。
0893-57-6266
大洲市中村231愛媛舗道ビル2階 <http://www.murakami-law.net>

広告募集



問 情報推進課 ☎ 62-6404

ユーズドショップ亀田

金・プラチナ高価買取 ブランド品販売

商品券・金券も買取

宅配買取OK!

亀田

質店

【営業時間】am9時～pm8時

【定休日】水曜日

大洲店 (0893) **24-5700**

バイパス大洲南出入口(北只
交差点)より旧56号線へ150m

四国電力株式会社
shoden しあわせのチカラになりたい。

- 料理・パン教室(社外講師による講座)
- IH体験会(四電スタッフによる講座)
- よんでん和み館貸出(イベント会場として使用可能)

くわしくはよんでんホームページ
<http://www.yonden.co.jp> または
四国電力までお問い合わせ下さい！

四国電力(株) 八幡浜営業所
八幡浜市川通り1460-125
☎ 0120-172-778 (月～金 9:00～17:00 祝日除く)

西予市内の山林買取致します！

愛媛県イメージアップ
キャラクター みきゃん

**やる気のある
若手林業作業員
正社員募集!!**

許諾番号 2902047

〈社員平均年齢34歳〉◆各種保険・退職金制度・賞与◆

愛媛県知事認定林業事業体 西予市宇和町河内95番地3
キクチ観光(株)木材部 TEL 0894-66-0420
担当/菊地 ☎ 090-8282-5583

広告募集



問 情報推進課 ☎ 62-6404